

平成16年度試験研究成果

区分	普及	題名	黒毛和種県産種雄牛「菊茂勝」の作出（現場後代検定法）					
<p>〔要約〕</p> <p>平成15年度に現場後代検定を終了した種雄牛のうち、「菊茂勝」が肉量・肉質に優れた成績であり、16年2月に県有種雄牛として選抜され、凍結精液の供給を開始した。</p> <p>平成16年4月に評価された脂肪交雑の育種価は、評価対象牛1,072頭中第2位であり、本県和牛の改良増殖への貢献が期待される。</p>								
キーワード	黒毛和種	現場後代検定法	種雄牛	畜産研究所 種山畜産研究室				

1. 背景とねらい

黒毛和種の産肉能力向上を図るため、計画交配、産肉能力検定等により優れた能力を備えた種雄牛を生産確保し、その効率的利用を促進し黒毛和種の集団的な育種改良を推進する。

2. 成果の内容

- (1) 産肉性の評価は（社）全国和牛登録協会が定める現場後代検定法により行った。
- (2) 調査牛頭数は16頭（去勢8頭、雌8頭）であり、枝肉重量443kg、ロース芯面積55cm²と肉量に優れた。
肉質等級4以上の割合（上物率）は75.0%、肉質等級5の割合は43.8%と極めて優れた。（表1、表2）
- (3) 2月の「いわて和牛改良増殖対策事業」県協議会で県有種雄牛として選抜され、凍結精液を供給しており、今後の利用を促進する。
- (4) 産肉性の育種価（H16.04評価）は、全形質で大きな改良が期待される評価値であった。
特に脂肪交雑の育種価は、評価対象1,072頭中第2位、県内供用中の種雄牛ではトップであった。（表3、表4）

3. 成果活用上の留意事項

- (1) 検定種雄牛の概要

登 録		直接検定			血 統			
名号	番 号(得点)	生年月日	年度	D G	父	母の父	祖母の父	産地
菊茂勝	黒原3898(83.9)	H11.2.20	H11	1.03	平茂勝	菊谷	安美金	盛岡市

- (2) 検定期間および検定方法
 検定期間：平成14年4月26日～15年12月20日
 検定方法：（社）全国和牛登録協会が定める和牛種雄牛産肉能力検定（現場後代検定法）
 複数の肥育場（農家等）において種雄候補牛産子15頭以上を慣行法により肥育管理
 去勢牛は生後29ヵ月未満、雌牛は生後32ヵ月齢未満で肥育終了
 枝肉格付は出荷先の（社）日本食肉格付協会格付員が実施
- (3) 交配上のポイントおよび留意事項
 兵庫系（紋次郎等）、島根系（北国7の8）娘牛との交配で良い成績をあげた。
 近親交配は避けること（平茂勝娘牛）。

4. 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯または対象者等
 県下全域 肉用素牛生産農家
- (2) 期待する活用効果等
 黒毛和種の改良推進 凍結精液供給本数 10,000本

5. 当該事項に係る試験研究課題

(235) 黒毛和種産肉能力検定（間接法・現場後代検定法）[H1～17 その他]

6. 参考文献・資料

- (1) （社）全国和牛登録協会 種雄牛の各種検定法について 2002. 7

7. 試験成績の概要

(1) 調査牛頭数 16頭 (去勢8頭、雌8頭)

(2) 検定結果

表1 測定値並びに肉質判定の結果

項目		平均 ± 標準偏差
頭数 (頭)		16
枝肉重量 (kg)		443 ± 58
歩留	ロース芯面積 (cm)	55 ± 7
	バラの厚さ (cm)	7.9 ± 1.2
	皮下脂肪の厚さ (cm)	2.1 ± 0.5
	歩留基準値 (%)	74.3 ± 1.3
脂肪交雑基準値(BMS)		1.9 ± 0.7
肉質等級4・5率 (%)		75.0 (12/16)

表2 格付の分布

項目	1	2	3	4	5	計
A		2	1	5	7	15
B		1				1
C						
計		3	1	5	7	16

表3 産肉性の育種価 (H16.04評価、後代数21)

	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	推定歩留	脂肪交雑
育種価	46.617	8.491	0.708	-0.651	1.570	2.723
正確度	0.895	0.873	0.852	0.892	0.886	0.909

表4 脂肪交雑の育種価ランキング (H16.04評価)

順位	名号	登録番号	育種価	正確度	後代数
2	菊茂勝	黒原3898	2.723	0.909	21
7	金菊徳	黒原3700	2.433	0.930	29
8	菊安舞鶴	黒13059	2.376	0.948	38
10	安福菊	黒12808	2.349	0.970	81